

七飯町海外交流派遣研修報告書の発行にあたって

七飯町とコンコード町は、平成9年11月に姉妹都市提携の調印を交わしてから昨年で20年の節目を迎え、11月にはコンコード町からの訪問団を招いて記念式典やコンコードストリート開通式を実施し、両町の親善と友好の絆をさらに深めることができました。

そして、今回で23回目となったコンコード町への海外交流派遣研修事業は、昨年の10月3日から10月14日までの12日間、コンコード町に総勢14名（中学生5名、高校生3名、引率教員1名、一般町民3名、町職員2名）で訪問してきました。

現地では、全員が一般家庭にホームステイをさせていただき、米国の文化や習慣を学びながら七飯町の魅力を紹介するなど、姉妹都市交流の目的を十二分に達成してきました。

中高校生は、七飯高校の姉妹校でもあるコンコードカーライル高校にてホストファミリーの生徒とともに授業に参加し、アメリカの学校生活を体験しただけではなく、茶道、書道、折り紙やけん玉などの日本文化を紹介したり、ラジオの生放送に挑戦する機会なども設けて頂きました。

町民代表につきましては、一般公募を実施した上で3名を派遣しました。コンコード町側では3名それぞれの興味関心に応じた視察行程を組んで頂き、現地の方々と直接意見交換をしながら互いの文化や習慣に関する類似点や違いなどを学ぶことができました。

また、昨年七飯町に赴任したコンコード町出身で第11代国際交流員のアンドリュー・クルーパさんも引率職員として訪問団に随行し、当事業のサポートに当たってその能力を存分に発揮してきました。

訪問団は、コンコード町では「若草物語」の舞台となったオーチャードハウスやアメリカ独立戦争勃発の地であるオールドノースブリッジ、ボストン市ではハーバード大学、そしてニューヨーク市では自由の女神や国連本部など、数多くの特別な場所を訪れるなかで、一人ひとりが見聞を広めて世界的な視野を持つことができました。

異国の地に身を置き、自分の目や耳で直接体験することは計り知れないほど良い経験であり、訪問団全員にとって生涯忘れることのできない大変貴重な財産になったことと思います。

最後になりますが、本事業の実施にあたりまして、様々な形でご協力くださいました各学校や保護者を始めとする関係各位、そして、訪問団を手厚く受け入れてくださったコンコード町の皆様方に改めて厚くお礼を申し上げるとともに、今後も両町の友好と親善の絆がさらに深まりながら将来にわたり末永く継続していくことを願っております。



七飯町長 中宮 安一